平成28年2月29日

平成２７年度　学校評価書

四万十市立中筋中学校
学校長　下谷　達也　　印

１．学校教育目標

自ら学び、共に歩み、未来を拓く生徒の育成

２．本校の現状

学力面においては、平成２６年度高知県学力定着状況調査で、３年生は、国語＋０．２・社会＋１．９・数学－４．６・理科＋３．３・英語＋１２．２という結果であり、数学に課題がある。２年生は、国語－１．３・社会＋４．７・数学－０．３・理科＋２．９・英語＋８．９という結果であり、国語・数学に課題がある。
体力面においては、平成２６年度高知県体力・運動能力調査で、３年生は、Ａ判定３名・Ｂ判定２名・Ｃ判定３名である。２年生は、Ａ判定２名・Ｂ判定１名・Ｃ判定２名である。Ｄ・Ｅ判定が０名は評価できるが、２・３年ともに「上体起こし」に課題がある。

３．本年度の評価項目

（１）学力向上
①学力向上のための組織的な校内研修等の取組　②子どもにわかる授業づくり
③予習・復習の質と量を高める取組　④小規模校教育の研究
（２）生徒指導
①自尊感情が高くお互いを尊重する心の育成　②いじめの根絶
③基本的生活習慣の確立と健康教育の充実
（３）学校・家庭・地域の連携
①地域に学び、地域と共に、地域への貢献　②家庭・地域への積極的な情報発信
③適切な学校評価と学校改善
（４）体力の向上
①体育・体育的活動の充実　②リーダーの育成　③スポーツテスト結果の分析
④部活動の活性化
（５）防災・安全教育の推進
①避難訓練等の実施　②高知県安全教育プログラムの活用　③登下校中の事件・事故の未然防止
④安全な施設設備の維持管理・美化

４．自己評価

評価項目 大	評価項目 中	評価指標	取組状況・成果	評定		次年度の方策
（１）学力向上	①学力向上のための組織的な研修等の取組	○学期ごとに研修計画を見直して取り組む。 ○全国学テ・県版学テ・標準学テの分析を行い、個に応じた指導・支援を行う。 ○夕学習で数学の力を付けて、全国・県の平均正答率を上回る。	○学期ごとに研修計画を見直すことができた。 ○各種学テの分析を行い、課題解決に取り組んだ。個に応じた指導・支援を行った。 ○数学で全国・県学テの平均正答率を上回ることができた。	3	3	○学期ごとに課題に応じて研修計画を見直して取り組む。 ○各種学テに向けて事前の取り組みを強化する。分析を行い、強み・弱みを明確にして取り組む。 ○各教科、目標を数値で設定して取り組む。
	②子どもにわかる授業づくり	○授業スタンダードを徹底する。 ○全教員が授業研究を実施する。講師を招聘して質を高める。 ○全学年、全国学テ・県版学テ・標準学テで全国・県の平均正答率を上回る。	○授業スタンダードに則り授業を行ったが、まだ研究の途上にある。 ○９名の教員・教頭全員が授業研究を行い、西部教育事務所等の指導主事による指導・助言を受けた。 ○全国・県の平均正答率を上回ることができない教科があった。	2		○中筋中授業スタンダードが、本当の意味でのスタンダードになるように取り組む。 ○全教員が授業研究を実施する。講師を招聘して質を高める。 ○各教科、目標を数値で設定して取り組む。
	③予習・復習の質と量を高める取組	○家庭学習の手引きを活用する。 ○個に応じた課題を設定する。 ○グッドノート賞を実施する。	○家庭学習の手引きを見直して取り組めた。全国学テ生徒質問紙で分かった予習・復習の課題に全学年で取り組んだ。 ○個に応じた課題を設定できた。 ○生徒会執行部の取り組みとして実施できた。	3		○家庭学習の手引きを見直して活用する。全国学テの予習・復習の課題に取り組む。 ○個に応じた課題を設定する。 ○生徒会・保護者と連携して取り組む。
	④小規模校教育と小中連携の研究	○小規模・複式研の研究協力校として事業計画通りに実施する。 ○小中合同校内研修を実施する。 ○教職員・児童・生徒の交流を学期に２回以上行う。	○事業計画通りに実施できた。研究発表会で授業を公開することができた。 ○小中合同職員会・校内研修を計画通り実施できた。 ○児童生徒の交流学習・小学校への読み聞かせ・教員の授業交流等、計画以上に交流を持つことができた。	4		○へき地教育・小規模校教育の研究を行う。 ○小中合同職員会・校内研修を計画通り実施する。 ○児童・生徒の交流を行う。教員は授業交流を行う。

（2）生徒指導	①自尊感情が高くお互いを尊重する心の育成	○道徳・人権教育年間指導計画に基づいて実施する。 ○道徳教育の指導方法の工夫と改善を行う。 ○特別支援教育を充実させる。	○年間指導計画通りに実施できた。 ○指導方法の工夫や改善への取り組みは十分ではない。 ○ユニバーサルデザインに基づく授業づくりに取り組んだ。	3	3	○道徳・人権教育年間指導計画に基づいて実施する。 ○道徳の校内研修を実施し、指導方法の工夫と改善を行う。 ○ユニバーサルデザインに基づく授業づくりに取り組む。
	②いじめの根絶	○いじめ防止基本方針に基づき計画通り実施する。 ○Ｑ－Ｕ・学校生活アンケートを実施・分析し、一人一人の心の状態を把握する。	○いじめ防止基本方針に基づき計画通り実施できた。 ○Ｑ－Ｕ・学校生活アンケートを実施・分析して、個に応じた指導ができた。	3		○いじめ防止基本方針を見直して取り組む。 ○Ｑ－Ｕ・学校生活アンケート、目標を数値で設定して取り組む。
	③基本的生活習慣の確立と健康教育の充実	○生活調べを定期的に実施する。 ○健康教育を通して、いのちや食育等に関する指導を行う。	○生活調べを月に１回実施できた。保健だよりを発行して家庭への啓発もできた。 ○来年より中学校完給食になるため「食に関する指導全体計画」と「給食指導年間指導計画」を作成した。	3		○生活調べを定期的に実施する。 ○食に関する指導全体計画と給食指導年間指導計画に基づいて、給食指導と食育を行う。
（3）学校・家庭・地域の連携	①地域に学び、地域と共に、地域への貢献	○生徒会が主体となって、地域行事に参加・交流する。 ○総合的な学習の時間を活用して計画的に取り組む。	○地域・小学校と共に中筋一斉清掃に取り組むことができた。 ○地域の方にお世話になり、中筋地区の産業や歴史等について学習した。中筋しあわせクラブの方達と交流会が持てた。	3	3	○生徒会が主体となる行事や活動を行う。 ○総合的な学習の時間を活用して、地域に学び、地域と交流する。
	②家庭・地域への積極的な情報発信	○定期的に学校だよりや学級だよりを発行する。 ○学校ホームページを随時更新する。 ○開かれた学校づくり推進委員会を開催する。	○定期的に学校だよりや学級だよりを発行できた。 ○学校ホームページを更新できた。 ○中筋子どもと共に育つ会の会合を３回、活動を２回持つことができた。	3		○定期的に学校だよりや学級だよりを発行する。 ○学校ホームページを随時更新する。 ○開かれた学校づくり推進委員会を開催する。
	③適切な学校評価と学校改善	○アンケートなど数値や客観的事実に基づいた自己評価を行う。 ○自己評価と学校関係者評価を踏まえて、次年度の評価指標等を改善する。	○学校アンケートや各種アンケートに基づいて自己評価を行った。 ○学校関係者評価を踏まえて、来年度の学校評価書を作成する。	3		○アンケートなど数値や客観的事実に基づいた自己評価を行う。 ○自己評価と学校関係者評価を踏まえて、次年度の評価指標等を改善する。
（4）体力の向上	①体育・体育的活動の充実	○年間指導計画に基づいて実施する。 ○体育アンケート実施する。	○年間指導計画通りに実施できた。 ○体育アンケートを実施した。『体育は楽しい』の肯定的評価が前期88％から後期100％に上がった。	4	3	○年間指導計画に基づいて実施する。 ○体力テストを分析して弱点を克服する取り組みを行う。
	②リーダーの育成	○キャプテンをリーダー研修等に参加させ育成する。	○キャプテンがリーダー研修等に参加できた。	3		○生徒会執行部やキャプテンを中心にリーダー研修等で育成する。
	③体力テスト結果の分析	○学校・学年・個人の結果を分析し取り組む。 ○上体起こしを県以上にする。	○学校・学年・個人の結果を分析し、弱点克服に取り組んだ。 ○昨年度より向上したが、県よりやや低かった。	3		○体力テストの結果を分析して、強みを活かし、弱点を克服する取り組みを行う。
	④部活動の活性化	○部活動アンケートの達成感を90%以上にする。 ○加入率を90%以上にする。	○部活動アンケートで、『達成感を感じる』の肯定的評価が100％であった。 ○部活動加入率は94.4％であった。	4		○部活動を活性化して、体力を向上する。 ○礼儀やマナーを身につける。
（5）防災・安全教育の推進	①避難訓練等の実施	○避難訓練等を通して、地震や火災への構えと備えを強化する。	○各学期に１回避難訓練を実施できた。小中合同避難訓練も実施できた。起震車を体験できた。	3	3	○避難訓練等を通して、地震や火災への構えと備えを強化する。
	②高知県安全教育プログラムの活用	○全学年プログラムを活用した授業を５時間以上行う。	○全学年プログラムを活用した授業を５時間実施できた。全校生徒で、「避難所運営ゲーム」を行った。	3		○全学年プログラムを活用した授業を５時間以上行う。
	③登下校中の事件・事故の未然防止	○登下校中の事件・事故を０にする。	○登下校中の事件・事故を０にできた。自転車点検を行った。交通指導を保護者・教員それぞれに月１回行った。	4		○登下校中の事件・事故を０にする。
	④安全な施設設備の維持管理・美化	○施設設備の定期的な点検を行う。 ○学校内外の美化を行う。	○月に１回、施設設備の点検を行った。 ○愛校作業等で運動場の草引き・草刈り・溝上げを行った。人権の花を全校生徒で植えることができた。	3		○施設設備の定期的な点検を行う。 ○学校内外の美化を行う。

４段階評価（４　目標を十分に達成、　３　ほぼ目標を達成、　２　やや不十分、　１　改善を要する）

５．学校関係者評価

○中学生は挨拶が良くできている。子どもが元気だと地域も元気になる。来年度も挨拶運動を展開して欲しい。
○部活動に頑張って取り組めている。
○開かれた学校づくり推進委員会で、学校の取り組みを説明して情報発信をして欲しい。
○小学校と中学校がしっかりと連携して子ども達を育てて欲しい。
○平成２９年度全国へき地教育研究大会高知大会で、会場校になっているが、学校や有岡駅周辺の環境整備など、地域ができることは協力できる。
○中筋タウンポリスで学校を見回るとき、学校裏や体育館裏の草を刈ってあると巡回しやすい。